



「強く 聡く 美しく」



第4号

—知性・感性・品性のある横中生を目指して—

令和元年7月19日 発行

宇都宮市立横川中学校長 矢口 真一

保護者や地域の皆様には、日頃より本校の教育活動にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。今年度は、新学期が始まってから、全国学力・学習状況調査等の各種学力調査、オープンスクール、10連休、春季宇河地区及び県大会、体育祭、中間テスト、修学旅行、三者懇談等、様々な行事等が続きました。しかし、そのような中でも本校生徒は、教職員の指導の下、授業や各行事に一生懸命に取り組み大きな成果をあげました。私は校長として、本校生徒と教職員を誇りに思います。今年度は、夏休み前に例年より2日間授業日が増えたため、24日(水)から生徒たちは家庭に戻り長い夏休みを過ごすこととなります。そこで、ご家庭でも各学年で配られている夏休みのしおりを用いながら、夏休みの過ごし方についてお話し合ってください。生徒一人一人が安心・安全で、実り多い夏休みを過ごし、また元気に学校に戻って来ることを楽しみにしています。

横中は
愉快だ
宇都宮

HIYOSHI JUNIOR HIGH SCHOOL

本校生徒は、講話や体験などを通して、様々なことを学んでいます！

ジャガイモ堀り

宇都宮市では、例年、市内小・中学校の児童生徒を対象とした「食農体験学習事業」を実施しています。本校では、農園ボランティアの方のご協力をいただき、学校北側にある農園で野菜などを育てています。7月3日(水)には、1年生がジャガイモ堀りをし、地中に隠れたジャガイモを探し、一生懸命に掘り出していました。収穫したジャガイモは給食の食材として、全校生徒でおいしくいただきました。



薬物乱用防止教室

7月4日(木)、宇都宮市の出前授業として実施しました。当日は、本校の学校薬剤師を講師にお招きし、医師から処方される薬の適切な使用と覚せい剤等の薬物摂取による健康への影響等についてお話しいただきました。講話を通してセルフメディケーションの正しい知識や薬物乱用による影響を理解することができました。



ボランティア活動

7月7日(日)、本校生徒がボランティアとして、江川の川沿いへコスモスの苗を植栽しました。この活動は、7/10付の下野新聞でも紹介され、3年男子のコメントも掲載されました。また、同日、サン・アビリティーズで行われた「さん・あびふれあいまつり」にも本校生徒がボランティアとして参加し、地域の方々と交流しました。本校では、今後も生徒を地域に戻し、学校では体験できないことを通して様々な学びを得ることができるようしていきます。



選手激励会

7月10日(水)、各種大会やコンクールでの本校生徒の活躍を期待し実施しました。各部の部長がユニフォームを着てステージに上がり、大会に向けた目標や意気込み等を述べました。特に運動部の3年生にとっては、中体連主催の最後の大会を迎えるということで、特別な思いがありました。私からは、緊張感に負けず今まで培ってきた力をすべて出し切ってほしいと、激励の言葉を贈りました。生徒の頑張りを期待しています。



防犯教室

7月12日(金)、KDDIから講師を招いて実施しました。目的は、夏休みを迎えるにあたって、起こりやすいトラブルを認識して生徒の防犯意識を高め、携帯電話・スマートフォンやSNSの適切な利用について改めて考えるためです。生徒が事件や事故に巻き込まれることなく、安心して安全な夏休みを過ごせるように、ご家庭での指導もお願いします。



為せば成る 為さねば成らぬ何事も 成らぬは人の為さぬなりけり

私が好きな歴史上の人物の一人が、江戸時代の出羽国米沢藩第9代藩主 上杉鷹山うえずぎやうざんです。鷹山は17才のときに藩主となりましたが、藩は莫大な借金を抱えていました。そこで、鷹山は、借金返済のため自ら模範を示して質素儉約に努めながら、農業改革や産業開発にも取り組み、財政再建を果たしました。また、鷹山は、藩が経済的に困窮していたときも、「学問は国を治めるための根元」であるとの強い考えをもっていました。そこで、学問の場として藩校「興讓館こうじょうかん」を創設し、次代を担う人材の育成にも力を注ぎました。興讓館は現在、山形県立米沢興讓館高等学校となっており、「自他の生命を尊重する精神」「己を磨き、誠を尽くす精神」「世のために尽くす精神」、いわゆる「興讓の精神」が代々受け継がれているそうです。

アメリカ合衆国第35代大統領のジョン・F・ケネディは、大統領就任時の日本人記者団との会見で、「日本で最も尊敬する政治家はだれですか」と聞かれ、「上杉鷹山です」と答えたと言われています。

名君の誉れ高い上杉鷹山公が残した有名な言葉が「為せば成る 為さねば成らぬ何事も 成らぬは人の為さぬなりけり」です。これは、「希望はただ願っているだけでは叶えられるものではなく、自らの力で達成していくものであり、思ったような結果が得られないのは実現に向けた自分自身の努力が十分ではないのだ」という、自分の意志や行動に関連付ける主体的な考え方です。

私は、本校生徒一人一人が、夏休みの一日一日を大切にし、十分な努力を重ねながら自分の中に財産を積み上げ、一段と成長して学校に戻って来てくれることを大いに期待しています。

Habit is second nature. ー習慣は、第二の天性なりー

夏休みは、日頃行っていることを更に充実させたり、日頃はあまり行えていないことに取り組んだりできるよい機会です。お子さんに、これまでの生活を振り返らせ、有意義な夏休みとなるようご家庭でのご指導をお願いします。

★**計画を立てる** 長いと思われる夏休みですが、漫然と過ごしているとあっという間に終わってしまいます。規則正しい生活を送り、時間を有効に活用するために、日課表や週ごとの計画などを立てましょう。

★**具体的な目標を決めやり遂げる** 苦手なことに取り組むことや続けることなどを目標にし、その達成に向けて取り組みましょう。例)「毎日、苦手教科の学習に取り組む」「夏休みの宿題は、〇月〇日までに終わらせる」「休まず部活動に参加する」「早寝・早起きをする」「毎日、家の手伝いをする」

★**学習や読書にじっくりと取り組む** 始める時刻を決め、時間を十分にとって学習に取り組むとともに、読書に励みましょう。その際、その日の学習の内容や量、読書時間などについて目安をつけておくと、目標がはっきりして取り組みやすくなります。

★**自分のことは自分でする習慣を付ける** 自分の身の回りのことは自分でしましょう。

例)「朝は自分で起きる」「持ち物を整理・整とんする」「食後の食器の後片付けをする」



★**普段できない体験をする** 地域の行事やボランティア活動、各種体験活動に積極的に参加しましょう。

- ・6月下旬に実施した三者懇談では、保護者の皆様にご来校いただきありがとうございました。今年度から家庭訪問を廃止したため、保護者の皆様と学級担任が話をする場として三者懇談を設けました。懇談でいただいたご意見等については、今後の教育活動に生かしてまいります。なお、例年実施していた夏休み中の希望制による三者懇談は実施いたしません。
- ・PTA親子奉仕作業を、8月3日(土)6:00から実施します。朝早い時間となりますが、できるだけ多くの保護者の皆様と生徒の参加をお願いします。実施の有無については、5:00頃にメールにてお知らせします。
- ・8月13日(火)~16日(金)の4日間、市教育委員会の設定により学校業務休止日となり、教職員の勤務はありません。
- ・宇都宮市では、教職員による体罰等について、保護者の皆様から校長・副校長への電話等による相談日を2日程度設けることとしています。本校では、7月22日(月)及び23日(火)の2日間9:00~16:00としますのでお知らせします。